

事故発生時における緊急連絡体制のフロー

速報対象となる事故

下記の事故が発生した場合には速やかに報告して下さい。

1. 乗客、乗員、歩行者その他を問わず1名以上の死者を生じた事故
2. 乗客、乗員、歩行者その他を問わず5名以上の重傷者を生じた事故
3. 乗客に1名以上の重傷者を生じた事故
4. 乗客、乗員、歩行者その他を問わず10名以上の負傷者(重傷、軽傷を問わない)を生じた事故
5. 転覆、転落、火災(積載物品の火災を含む)を起こし、又は鉄道車両(軌道車両を含む。)と衝突若しくは接触した事故
6. 酒気帯び運転
7. 自然災害に起因する可能性のある事故
8. その他社会的影響が大きいと認める事故(例:報道機関による報道があったとき又は取材を受けたとき)

一般乗合・一般貸切・特定事業者又は自家用有償旅客運送者

報告

速やかに

報告は管轄の運輸支局等へ!

東京運輸支局等整備部門保安担当

[連絡先の勤務時間内(8:30~17:15)]

直通電話:03-3458-9237 FAX:03-3458-9783

[連絡先の勤務時間外・休日]

携帯電話:080-3369-7374

1.~4.
(1.,2.
及び4.
については乗客に
係るもの)
は特に速
やかに!

報告事項

第1報は把握している範囲で速やかに!

- ①事業者名
 - ②事業形態
 - ③発生日時
 - ④発生場所
 - ⑤事故車の登録番号
 - ⑥死者数、重傷者数及び負傷者数
 - ⑦事故概要
 - ⑧情報入手先
 - ⑨その他判明している事項
 - ⑩緊急連絡担当者名及び連絡先
- ※第1報報告後の追加情報も速やかに報告

【別添様式】

FAX送信票

東京運輸支局整備部門（保安担当） あて 平成 年 月 日
 時 分 現在
 FAX 03-3458-9783

事故報告（第 報）

事業者名			
事業形態	一般乗合	一般貸切	特定 自家用有償 <small>（いずれかを○で囲む）</small>
事故発生日時	平成 年 月 日	時	分
事故発生場所			
事故車の登録番号			
	死者数	総負傷者数	
		うち重傷者数	
乗客	名	名	名
乗員	名	名	名
その他	名	名	名
合計※	名	名	名
<事故概要>			
情報入手先			
<その他判明している事項>			
【緊急連絡担当者名・連絡先】 氏名 _____ TEL _____			

※ 乗客・乗員その他区別がわからない場合は合計欄のみ記入。

〔自動車事故速報〕

(第 報)

関東運輸局管内

発信者：

受信者：関東運輸局自動車技術安全部保安・環境課

受付：平成 年 月 日 時 分

配布先	<input type="checkbox"/> 国土交通省安全政策課	<input type="checkbox"/> 関東運輸局長	<input type="checkbox"/> 関東運輸局次長	<input type="checkbox"/> 自動車技術安全部長									
	<input type="checkbox"/> 自動車技術安全部次長	<input type="checkbox"/> 総務部長	<input type="checkbox"/> 自動車交通部旅客	<input type="checkbox"/> 自動車交通部貨物									
	<input type="checkbox"/> 自動車監査指導部	<input type="checkbox"/> 鉄道部	<input type="checkbox"/> 運輸局	<input type="checkbox"/> 運輸支局									
日時	平成 年 月 日 () 時 分		天候：	道路名：									
場所													
種類	転覆	転落	路外逸脱	火災	踏切	衝突	車内	死傷	その他				
損害	死者： 人	重傷者： 人	軽傷者： 人	車両の損害： 破()									
事故(当事者)	事業者名			業態等	車名・型式・年式								
	登録番号			運転者	年齢	才	定員	当時：					
				経験	年	積載量	最大：						
事故(当事者)	事業者名			業態等	車名・型式・年式								
	登録番号			運転者	年齢	才	定員	当時：					
				経験	年	積載量	最大：						
道路	幅員	勾配		直・曲の別				路面の状態			車両制限令の指定	路肩危険指定	
	m	平坦	上り	下り	直線	右曲	左曲	交差	乾燥	湿潤	凍結	積雪 (cm)	
転落	追越・行違・退避・単独				正立・横転(乗降口：上・下)・逆転								
	落差：	m		場所：	水深：		m		傾斜：	度			
踏切	種別：第 種	幅員：	m		見通し：	m		勾配：	制限等：				
一般事項	危険認知速度：	km/h		当該道路の制限速度：	km/h		危険認知距離：	m					
事業者	所在地：				営業所	営業所名：							
	代表者名：					配置車両数： 両							
事故状況 (多重衝突事故等の場合は、現場略図等を別紙に記載すること。)													

主な調査指示及び再発防止対策指示等	-----				推定原因	-----							
	-----				備考	空欄は、現在調査中。							

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書					
国土交通大臣		殿			
自動車の使用者の氏名又は名称					
住所					
電話番号					
年 月 日 提出					
☆発生日時	年	月	日	時	分
天 候	1 晴れ	2 曇	3 雨	4 雪	5 霧 6 その他
☆発生場所	都道 府県	区市 郡	区町 村	番地	☆路線名 又は 道路名 道 線
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置					☆自動車登録番号 又は車両番号
☆当時の状況					
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）					
☆当時の処置					
☆事故の原因					
☆再発防止 対 策					
※備 考					

（日本工業規格A列4番）

事故の種類	区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通障害	15 その他	☆ 危険認知時の速度	km/h																														
	☆ 発生順																☆ 危険認知時の距離	m																														
	☆ 転落の状態	落差		m		水深		m																	☆ スリップ距離	m																						
	衝突等の状態	1 正面衝突 4 接触			2 側面衝突 5 物件衝突			3 追突																		当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進 (加速)	2 直進 (減速)	3 直進 (定速)																			
	☆ 車名	☆ 型式	☆ 車体の形状		☆ 初年度登録年又は初年度検査年												道路上で事故の場合には事故発生地点	1 車道	2 歩道	3 横断歩道																												
	事業用	1 乗合旅客 3 乗用旅客 5 一般貨物 (イ特別積合せ貨物 6 特定貨物		2 貸切旅客 4 特定旅客 ロその他 7 特定第二種																	死傷事故の場合には死傷者の状態	1 左側通行	2 右側通行	3 信号無視	4 車道通行	5 歩道通行	6 横断歩道歩行	7 車の直前横断	8 斜横断	9 飛び出し	10 酔酩	11 路上作業	12 路上遊戯	13 乗降中	14 安全地帯	15 自転車運転	16 その他											
	自家用	1 有償貸渡し (レンタカー) 2 有償旅客運送		3 その他																	車両の故障に起因する場合には故障箇所	1 原動機 (速度抑制装置を除く)	2 速度抑制装置	3 動力伝達装置	4 車輪 (タイヤを除く)	5 タイヤ	6 車軸	7 操縦装置	8 制動装置	9 緩衝装置	10 燃料装置	11 電気装置	12 車枠及び車体	13 連結装置	14 乗車装置	15 物品積載装置	16 窓ガラス	17 騒音防止装置	18 ばい煙等の発散防止装置	19 灯火装置及び指示装置	20 反射器	21 警音器	22 視野を確保する装置 (後写鏡、窓ふき器等)	23 計器 (速度計、走行距離計等)	24 消火器	25 内圧容器及びその附属装置	26 運行記録計	27 その他
	種別	1 普通		2 小型		3 その他																	☆ 氏名																									
	☆ 乗車定員	人		☆ 当時の乗車定員		人																	☆ 年齢	才	月	日																						
	☆ 最大積載量	kg		☆ 当時の積載量		kg																	☆ 経歴年数	年	月	日																						
	許可等の必要性	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和		1 有		2 無																	自動車運転を職業とする者にあつては勤務状況	本務・臨時の別	1 本務	2 臨時																						
	許可等の取得状況	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和		1 有		2 無																	☆ 事故日以前1ヶ月間に出勤しなかつた日数	日																								
	貨物の内容	1 土砂等		2 長大物品等		3 コンテナ																	☆ 乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離	時間	km																							
	積載危険物等	1 有		2 無																	☆ 最近出勤しなかつた日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計	勤務日数	日	乗務距離	km																							
	種類	1 道路 (イ高速自動車国道 ハその他)		2 その他の場所																	損害の程度	1 死亡	2 重傷	3 軽傷																								
☆ 道路の幅員	m																シートベルトの着用状況	1 着用	2 非着用	3 非装備																												
こう配	1 平たん		2 上り		3 下り																	☆ 交替運転者の配置	1 有	2 無	(交替後の乗務時間及び乗務距離)	時間	km																					
道路の形態	1 直線		2 右回り		3 左回り																	☆ 過去3年間の事故の状況 (最近の事故年月日)	年	月	日																							
路面の状態	1 乾		2 産		3 積雪		4 氷結																	☆ 過去3年間の違反の状況 (最近の違反年月日)	年	月	日																					
警戒標識の設置	1 有		☆ 当該道路の制限速度		km/h												☆ 過去3年間の適性診断の受診状況 (最近の受診年月日)	年	月	日																												
路切の状態	1 遮断機付き		2 警報機付き																	☆ 最近の健康診断の受診年月日	年	月	日																									
☆ 当時の運行計画	(発地・経山地・着地)																本務・臨時の別	1 本務	2 臨時																													
☆ 運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等 (貸切旅客のみ)																	損害の程度	1 死亡	2 重傷	3 軽傷																												
安全性優良事業所の認定 (貨物のみ)	1 有		2 無																	運行管理者	氏名																											
運送形態	1 下請運送		2 その他																	運行管理者資格者証番号																												
☆ 荷受人の氏名又は名称及び住所																	☆ 死亡	人 (うち乗客 人)																														
☆ 荷送人の氏名又は名称及び住所																	☆ 重傷	人 (うち乗客 人)																														
																	☆ 軽傷	人 (うち乗客 人)																														
																	※事業者番号																															
																	※再発防止対策																															

(注)

- (1) ☆印欄は、具体的に記入すること。ただし、不明の場合は該当欄に「不明」と記入し、記入の要のない場合は該当欄に斜線を引くこと。
なお、欄内に記入し得ないときは、別紙に記入し、これを添付すること。
- (2) ※印欄は、記入しないこと。
- (3) ☆印欄及び※印欄以外の欄は、該当する事項を○で囲むこと。
- (4) ◆印欄は、事故が第2条第11号又は第12号のみに該当する場合には、記入を要しない。
- (5) 時刻の記入は、24時間制によること。
- (6) 「区分」の記入は、次の区分によること。
 - 1 転覆 当該自動車が道路上において路面と35度以上傾斜したとき。
 - 2 転落 当該自動車が道路外に転落した場合で、その落差が0.5メートル以上のとき。
 - 3 路外逸脱 当該自動車の車輪が道路（車道と歩道の区分がある場合は、車道）外に逸脱した場合で、「転落」以外のとき。
 - 4 火災 当該自動車又は積載物品に火災が生じたとき。
 - 5 踏切 当該自動車が踏切において、鉄道車両と衝突し、又は接触したとき。
 - 6 衝突 当該自動車が鉄道車両、トロリーバス、自動車、原動機付自転車、荷牛馬車、家屋その他の物件に衝突し、又は接触したとき。
 - 7 死傷 死傷者を生じたとき（9に該当する場合を除く。）
 - 8 危険物等 第2条第5号又は第6号に該当する事故
 - 9 車内 操縦装置又は乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により、旅客（乗降する際の旅客を含む。）を死傷させたとき。
 - 10 飲酒等 第2条第8号に該当する事故
 - 11 健康起因 第2条第9号に該当する事故
 - 12 救護違反 第2条第10号に該当する事故
 - 13 車両故障 第2条第11号又は第12号に該当する事故
 - 14 交通障害 第2条第13号又は第14号に該当する事故
 - 15 その他 1から14までに該当しないとき。
- (7) 2種類以上の事故が生じたときには、「発生の順」の欄に発生の順に番号を記入すること。
- (8) 「転落の状態」の欄の「落差」は、路面から落下地点までの垂直距離とする。
ただし、水中に転落した場合で水深を記入する必要がある場合には、路面から水面までの垂直距離とする。
- (9) 「車体の形状」の欄は、道路運送車両法第58条の自動車検査証に記載されている車体の形状を記入すること。
- (10) 「積載危険物等」とは、次に掲げるものであって事故当時当該自動車に積載していたものをいう。
 - 1 危険物 消防法第2条第7項に規定する危険物
 - 2 火薬類 火薬類取締法第2条第1項に規定する火薬類
 - 3 高圧ガス 高圧ガス保安法第2条に規定する高圧ガス
 - 4 核 原子力基本法第3条第2号に規定する核燃料物質及びそれによって汚染された物
 - 5 R1 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第2条第2項に規定する放射性同位元素及びそれによって汚染された物
 - 6 毒劇物 シアン化ナトリウム又は毒物及び劇物取締法施行令別表第二に掲げる毒物又は劇物
 - 7 可燃物 道路運送車両の保安基準第47条第1項第3号に規定する品名の可燃物
- (11) 「許可等の必要性」及び「許可等の取得状況」の欄は、当該自動車の運行について次の許可等の必要性の有無及びその取得状況に該当するものを○で囲むこと。
 - 1 制限外許可 道路交通法（昭和35年法律第105号）第57条の規定による許可
 - 2 特殊車両通行許可 道路法（昭和27年法律第180号）第47条の2の規定による許可
 - 3 保安基準の緩和 道路運送車両の保安基準第55条の規定による基準の緩和であって、道路運送車両の保安基準第2条第1項、第4条及び第4条の2に係るもの
- (12) 「イエローカード」とは、当該積載危険物等の取扱方法を記載した書類をいう。
- (13) 「種類」の欄の「ロ 自動車専用道路等」は、自動車専用道路及び道路運送法による自動車道とし、「2 その他の場所」は、構内、営業所等一般交通の用に供しない場所とする。
- (14) 「道路の幅員」は、路肩部分を含む道路（車道と歩道の区別がある場合は、車道）の総幅員とする。
- (15) 「道路の形態」の欄の「交差」は、当該自動車前方30メートル以内に交差点があった場合とする。
- (16) 「運行計画」には、運行管理者が与えた指示を含むものとする。
- (17) 「運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等」の欄は、事故を引き起こした当該一般貸切旅客自動車運送事業者と運送契約を締結した者の氏名又は名称及び住所を記載すること。運送契約の相手方が旅行業法（昭和27年法律第239号）第3条の規定による旅行業又は旅行業者代理業の登録を受けている者（以下「旅行業者等」という。）である場合には、氏名又は名称及び住所のほか、旅行業者等の登録番号を記載すること。
- (18) 「安全性優良事業所の認定」とは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関が、輸送の安全の確保に関する取組が優良であると認められる貨物自動車運送事業者の営業所に対して行う認定をいう。
- (19) 「下請運送」とは、貨物自動車運送事業者からの運送の依頼により行う貨物運送をいう。
- (20) 「荷送人の氏名又は名称及び住所」の欄は、事故を引き起こした当該貨物自動車運送事業者と運送契約を締結した荷送人のほか、事故の際に運送していた貨物に関して当該荷送人と運送契約を締結した者等の当該貨物の運送に関して運送契約を締結した全ての者を記載すること。
- (21) 「運送形態」の欄の「2 その他」に該当し、かつ、当該運送が特別積合せ運送である場合には「荷送人の氏名又は名称及び住所」及び「荷受人の氏名又は名称及び住所」の欄は、記入を要しない。
- (22) 「過去3年間の事故の状況」の欄は、当該運転者が引き起こした道路交通法第67条第2項の交通事故に関して記入する。
- (23) 「過去3年間の適性診断の受診状況」の欄は、当該運転者の過去3年間の運転適性診断の受診の有無について、該当する事項を○で囲むこと。また、「適性診断受診場所」は、「最近の受診年月日」に受診した受診場所（又は受診機関）を具体的に記入すること。
- (24) 「最近の健康診断の受診年月日」の欄は、第2条第9号に該当する事故を引き起こした当該運転者が受診した労働安全衛生法第66条に規定する健康診断の最近の受診年月日を記入すること。
- (25) 「運行管理者」は、事故について最も責任のあると考えられる運行管理者のことである。
- (26) 「統括運行管理者」とは、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第48条の2第1項又は貨物自動車運送事業輸送安全規則（平成2年運輸省令第22号）第21条第1項に規定する業務を統括する運行管理者をいう。